

## 128年の歴史を刻む鹿島高校

本校は、明治29年(1896年)、鹿島藩第13代藩主鍋島直彬公による「鎔造館」の建物・備品一式の県への寄付、並びに敷地の無償貸与によって、「佐賀県尋常中学校鹿島分校」として誕生しました。昭和30年(1955年)、鹿島高等学校・鹿島

実業高等学校として分離しましたが、平成30年(2018年)に統合され、新設鹿島高等学校となりました。

普通科を有する赤門学舎と、商業科・食品調理科を有する大手門学舎ともに旧鹿島城跡の閑静で緑豊かな敷地に建てられています。その城門であった赤門や大手門は、本校の正門やシンボルとして、鹿城生(在校生・卒業生)の大きな心の支えとなっています。



## 伝統を受け継ぐ「牡丹餅会」



牡丹餅会とは、鍋島直彬公が旧制中学の教員や生徒を自邸に招き、御馳走を振る舞い健闘を祈られたことが始まりとされています。現在では本校の3年生が参加し、100年以上続く行事となっています。卒業間近の3年生が「牡丹餅を食べ、将来を語り、牡丹餅のように丸く粘り強くなろう。」とお互いの健闘を誓い合います。余興では空手演武やピアノ演奏、ヴァイオリン演奏などが行われ、会を盛り上げています。



鹿島の歴史を強く感じる事ができる大切な行事です。

卒業間近の3年生が参加し、100年以上続く行事となっています。

学校所在地: 赤門学舎:鹿島市大字高津原462  
大手門学舎:鹿島市大字高津原539

生徒数: 682名

連絡先: 赤門学舎 TEL 0954-62-4136 FAX 0954-63-9006  
大手門学舎 TEL 0954-63-3126 FAX 0954-63-9007

URL: <http://www.education.saga.jp/hp/kashimakoukou-n>

## 旭ヶ岡キャリア塾

1、2年生を対象に社会人の方々を迎え、シンポジウムを行っています。未来を切り拓くためにすべきこと等を話していただき、生徒の質問にも丁寧に答えてもらえます。

また、医師や警察官など幅広い分野で活躍されている卒業生20名を講師に迎えて、キャリア別



トークセッションも行っています。夢の実現のために取り組むべきこと等を話していただき、自分たちの将来を考える良い機会となっています。



## 開校記念遠足

毎年4月の開校記念日には祐徳稲荷神社への遠足を行っています。



## 学校の誇れるものの紹介



鹿島高校正門:赤門  
佐賀県重要文化財



人間国宝 鈴木茂人氏  
デザインの校章



旧制中学時代に  
建てられた講堂